

T I C A D 7 全体会合 3 「官民ビジネス対話」
小澤委員長の開会挨拶

日時：2019年8月29日(木) 8:45～11:30
場所：パシフィコ横浜 国立大ホール

1. アフリカ各国の代表の皆様、

安倍内閣総理大臣はじめ日本国政府の皆様、

国際機関の代表の皆様、

アフリカ各国ならびに日本の企業関係者の皆様、

そしてご参集の全ての皆様、

経団連サブサハラ地域委員長の小澤でございます。

本日は、このような場でお話しをさせていただく

機会を頂き、誠に光栄に存じます。

2. さて、アフリカ経済は、豊富な天然資源や堅調な

人口増加等を背景に高い成長力と潜在性を有し、世

界から注目される経済圏に成長しつつあります。私

ども日本企業は、長年、アフリカが秘める魅力と可

能性に注目し、資源・エネルギー開発、インフラ整

備、製造業・サービス業の事業分野において、ビジネスを展開してまいりました。今現在、日本企業はアフリカ各国で約 800 の拠点を構えており、これらの事業活動を通じて、雇用創出、技術移転、人材育成に貢献してまいりました。

3. ご高尚の通り、2013 年に横浜で開催されました TICAD5 以降、アフリカ諸国の期待は「援助から投資」へと大きくシフトいたしました。2015 年、アフリカ連合により採択された「アジェンダ 2063」では、対等なパートナーシップの構築が謳われ、これを受け、2016 年、日本企業は「より強いパートナーシップを築く」ことをビジネス宣言として、TICAD6 の場でコミット致しました。

4. しかしながら、アフリカ経済がこの三年間、困難な状況にあったこともあり、日本企業の進出は停滞

し、このコミットメントは果たし得ていない現状にあります。企業人として大変残念に思っています。こうした状況を受け、日本の官民は TICAD7 の開催にあたり、直接投資拡大に向け、日本企業がアフリカで直面している課題とその解決策をまとめた提言書を安倍総理に提出いたしました。政府からは、アフリカ政府との連携も含め課題解決に向け全面的な後押しを行うとの力強いメッセージが示されたところです。

5. その推進策の大きな柱として、官民連携の枠組みとして外務大臣・経済産業大臣を共同議長とする「アフリカビジネス協議会」が設立されました。次回の TICAD8 に向けて、これからの三年間、継続して課題に取り組んでいく常設の機関であります。すでに4つのワーキンググループにおいて、日本企業のアフリカ進出に向けた具体的な議論が開始さ

れております。その内容は本日紹介される予定ですが、政府の後押しをいただきながら、アフリカの将来性およびアフリカのニーズを踏まえ、企業としてもこれまで以上に、積極的な事業展開をコミットしていく内容となっております。

6. また、もうひとつの柱が、アフリカ各国の日本大使館、JETRO、日本進出企業の三者が、投資環境や進出企業の困り事について各国政府と直接協議する枠組みをつくることであります。現在、その具体化について検討が進められています。アフリカ各国の首脳の皆様には、こうした枠組みにご理解とご協力をいただき、ビジネス環境の整備に一緒になり取り組んでいただきたく考えておりますので、どうか宜しくご対応お願い申し上げます。

7. 最後に、今回の TICAD 7 を機に、アフリカの包摂

的成長と持続的発展の実現に向けて、日本とアフリカの官民、そして共催者である国際機関が一体となり、アフリカビジネスの加速・拡大を進め、アフリカの輝かしい未来につなげていくことを祈念申し上げ、私からの挨拶といたします。ご清聴ありがとうございました。

以 上